

平成 15 年 12 月期

第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 15 年 11 月 6 日

上場会社名

株式会社千趣会

上場取引所 東・大

コード番号 8165

本社所在都道府県

（URL <http://www.senshukai.co.jp>）

大阪府

代 表 者 代表取締役社長 行 待 裕 弘

問合せ先責任者 常 務 取 締 役 朝 日 朗 殖 T E L (0 6) 6 8 8 1 - 3 1 2 0

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度に
おける認識の方法との相違の有無 : 有 引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用
しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無
監査法人による監査は受けておりません。

2. 平成 15 年 12 月期第 3 四半期の業績概況（平成 15 年 1 月 1 日～平成 15 年 9 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
15 年 12 月期第 3 四半期	107,525	-	3,885	-	3,235	-	1,378	-
（参考）14 年 12 月期	147,100		3,325		2,039		1,366	

	1 株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当 り四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
15 年 12 月期第 3 四半期	31	61	31	57
（参考）14 年 12 月期	29	90		

（注）平成 14 年 12 月期は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期の実績は比較しておりません。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15 年 12 月期第 3 四半期	89,984	46,862	52.1	1,095 00
（参考）14 年 12 月期	88,118	46,585	52.9	1,056 52

（注）平成 14 年 12 月期は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期の実績は比較しておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
15 年 12 月期第 3 四半期	1,714	1,257	1,615	7,077
（参考）14 年 12 月期	756	1,453	2,427	8,235

（注）平成 14 年 12 月期は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期の実績は比較しておりません。

3. 平成 15 年 12 月期の連結業績予想（平成 15 年 1 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	149,000	4,450	2,200	51 41

（参考）平成 15 年 12 月期の個別業績予想（平成 15 年 1 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	146,800	4,220	2,200	51 41

（注）1 株当たり予想当期純利益の計算は、第 3 四半期末発行済株式数によっております。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料 2 ページをご参照下さい。

平成 15 年 12 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

当期におけるわが国経済は、7月から景気判断は上方修正に変わり景気指標も実質成長率は連続でプラスとなりました。「少しずつ明るい兆しが出てきている」との公式発表があったものの、10年ぶりとなる「冷夏」またその後の「残暑」の影響で、個人消費関連を中心に大きな落ち込みを示すものも出ており、業種によっては順調な景気回復に結びつかない状況で推移いたしました。

当社グループにおいては、このような状況のもと、顧客目線に立った「品揃え」「品質」「温かいサービス」をテーマに、オリジナル商品の開発強化やサービスの向上等に引き続き努めてまいりました。

当第3四半期の累計連結売上高は、以上のような気候面の影響もあり1,075億25百万円（参考値：前年同期比1.0%減）となりました。

利益面に関しましては、原価率の改善と当社グループをあげての経費全般に亘る削減に努めました結果、累計連結営業利益は38億85百万円（参考値：前年同期比17億98百万円増）となりました。

また累計連結経常利益は32億35百万円（参考値：前年同期比21億74百万円増）となり、累計連結純利益につきましては、13億78百万円（参考値：前年同期比12億57百万円増）となりました。

平成14年12月期第3四半期については、当期と同様の決算作業を行っておりません。当期との比較参照のため参考値として提示しております。

1.セグメント別の概況

【通信販売事業】

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当第3四半期累計の売上高は1,049億83百万円となりました。

(1) カタログ事業

当期の累計連結売上高は884億8百万円となりました。

(2) 頒布会事業

当期の累計連結売上高は165億75百万円となりました。

【その他の事業】

クレジット・サンプリング封入などを主とするサービス事業と、運送事業などを合わせたその他の事業の当第3四半期の累計連結売上高は25億41百万円となりました。

2.連結キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況については、営業活動において税金等調整前当期純利益が22億38百万円、減価償却費が18億77百万円であったものの、季節変動の要因に伴う売上債権の増加額12億68百万円及びたな卸資産の増加額16億61百万円であったこと、投資活動において投資有価証券の取得による支出8億1百万円及び有形固定資産の取得による支出5億57百万円であったこと、さらに財務活動において経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能にするために引き続き10億52百万円の自己株式を取得したことなどにより、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ11億58百万円減少し、70億77百万円となりました。

3.通期の見通し

今回通期の見通しにおいて中間決算時に発表いたしました15年12月期の1,513億円の売上高予想を1,490億円と23億円下方へ修正いたします。

売上面に関しては、カタログ夏号の状況及び秋冬号の見通しより予想しております。

一方利益面に関しましては、全社的な販管費の削減努力により前回発表を確保できる見通しです。

要約連結貸借対照表

(単位 百万円)

期 別 科 目	当第3四半期末 (平成15年9月30日現在)		前連結会計年度末 (平成14年12月31日現在)		増 減 (は減)
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額
(資産の部)		%		%	
流 動 資 産	48,236	53.6	44,392	50.4	3,844
現金及び預金	7,113		7,996		883
受取手形及び売掛金	10,630		9,361		1,268
有 価 証 券	167		242		74
た な 卸 資 産	16,598		14,937		1,661
そ の 他	13,726		11,854		1,872
固 定 資 産	41,747	46.4	43,726	49.6	1,978
有形固定資産	30,410		31,660		1,249
無形固定資産	1,636		2,105		468
投資その他の資産	9,700		9,961		260
資 産 合 計	89,984	100.0	88,118	100.0	1,865
(負債の部)					
流 動 負 債	38,312	42.6	36,205	41.1	2,106
支払手形及び買掛金	16,269		15,289		979
短期借入金	250		93		157
未 払 金	18,101		16,189		1,911
そ の 他	3,690		4,632		941
固 定 負 債	4,759	5.3	5,280	6.0	520
長期借入金	505		778		272
退職給付引当金	1,202		1,321		119
そ の 他	3,051		3,180		128
負 債 合 計	43,071	47.9	41,485	47.1	1,586
(少数株主持分)					
少 数 株 主 持 分	50	0.0	47	0.0	3
(資本の部)					
資 本 金	20,359	22.6	20,359	23.1	-
資 本 剰 余 金	19,864	22.1	19,864	22.5	-
利 益 剰 余 金	18,526	20.6	17,802	20.2	724
土地再評価差額金	9,008	10.0	9,159	10.4	151
その他有価証券評価差額金	69	0.1	382	0.4	451
為替換算調整勘定	29	0.0	29	0.0	0
自 己 株 式	2,919	3.3	1,867	2.1	1,052
資 本 合 計	46,862	52.1	46,585	52.9	276
負債、少数株主持分及び資本合計	89,984	100.0	88,118	100.0	1,865

要約連結損益計算書

(単位 百万円)

期 別 科 目	当第3四半期 〔自 平成15年 1月 1日〕 〔至 平成15年 9月 30日〕		前連結会計年度 〔自 平成14年 1月 1日〕 〔至 平成14年 12月 31日〕	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比
		%		%
売 上 高	107,525	100.0	147,100	100.0
売 上 原 価	54,943	51.1	76,821	52.2
売 上 総 利 益	52,582	48.9	70,279	47.8
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	48,696	45.3	66,953	45.5
営 業 利 益	3,885	3.6	3,325	2.3
営 業 外 収 益	200	0.2	300	0.2
受 取 利 息	19		38	
受 取 配 当 金	18		24	
そ の 他	163		238	
営 業 外 費 用	850	0.8	1,587	1.1
支 払 利 息	23		50	
為 替 差 損	682		1,299	
そ の 他	145		237	
経 常 利 益	3,235	3.0	2,039	1.4
特 別 利 益	317	0.3	1,446	0.9
特 別 損 失	1,314	1.2	1,667	1.1
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,238	2.1	1,818	1.2
法 人 税 等	854	0.8	466	0.3
少数株主利益(は損失)	5	0.0	15	0.0
四半期(当期)純利益	1,378	1.3	1,366	0.9

要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

期 別 科 目	当第 3 四半期 〔自 平成 15 年 1 月 1 日〕 〔至 平成 15 年 9 月 30 日〕	前連結会計年度 〔自 平成 14 年 1 月 1 日〕 〔至 平成 14 年 12 月 31 日〕
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	2,238	1,818
2. 減 価 償 却 費	1,877	2,704
3. 受取利息及び受取配当金	37	62
4. 支 払 利 息	23	50
5. 売上債権の増加(減少)額	1,268	143
6. たな卸資産の増加(減少)額	1,661	464
7. その他流動資産の増加(減少)額	1,338	1,098
8. 仕入債務の増加(減少)額	979	3,888
9. その他流動負債の増加(減少)額	2,351	1,747
10. そ の 他	1,021	2,165
小 計	2,141	2,746
11. 利息及び配当金の受取額	45	61
12. 利息の支払額	31	46
13. 事業再構築のための支出	-	1,877
14. 法人税等の支払額	440	128
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,714	756
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 投資有価証券の取得による支出	801	521
2. 投資有価証券の売却による収入	246	0
3. 有形固定資産の取得による支出	557	397
4. 無形固定資産の取得による支出	174	647
5. その他資産の増減額	30	112
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,257	1,453
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	15	-
2. 長期借入金による収入	-	144
3. 長期借入金の返済による支出	76	332
4. 自己株式の取得による支出	1,052	1,862
5. 配当金の支払額	498	374
6. 少数株主への配当金の支払額	2	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,615	2,427
現金及び現金同等物の減少額	1,158	3,124
現金及び現金同等物の期首残高	8,235	11,360
現金及び現金同等物の期末残高	7,077	8,235